



学校だより



青梅市立東小中学校
令和2年度 第4号
7月24日 (金)

1学期を振り返って・・・

当たり前感謝できる人になろう

校長 川窪 公夫

約2か月間に及ぶ臨時休校措置がとられた1学期も残りわずかとなりました。6月から全国的にも授業が再開された矢先、先の「令和2年7月豪雨」が、九州北部を中心に全国の広い地域を襲いました。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、被災地の皆様にお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興をと祈っております。

被災地の子ども達の中には、学校に通うことが困難になっている児童生徒もいます。新型コロナウイルス感染症もあり、当たり前学校に登校し、勉強が



できる日々がどんなに幸せなことか、当たり前のこと感謝できる心を大切にしたいものです。

さて、1学期の子ども達ですが、授業に真面目に取り組み、よく勉強していました。4月、5月の学習支援では、しっかりと課題に向き合い、自学自習の力をつけました。授業が再開されてからは、どのクラスも集中して先生の説明を聞き、一生懸命にノートを取り、プリントやワークシートに向かっていました。体育で心地よい汗を流し、実技教科でも、コツコツと作品の完成を目指し頑張りました。

終始、新型コロナウイルス感染症対策に追われた感じがする1学期でしたが、子ども達の頑張りが学校を支えてくれました。感染拡大防止のため、2学期以降も学校の教育活動に制限が続きますが、「ピンチはチャンス」と捉え、プラス思考で大いに成長してほしいと願っています。

7月の目標 「学校をきれいにしよう」

1学期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通常の清掃を行うことができませんでした。その代わりに、簡単清掃と呼ばれる一部の児童生徒が午後、登校した時に掃き掃除や黒板をきれいにする清掃活動を行いました。当番になった児童生徒は黙々とゴミを集め、黒板クリーナーを使い上手に黒板をきれいにしています。誰一人ふざける子どもはいません。学校をきれいにすることは、学校に感謝する心が行動となって表れることです。感謝できる心が自分を成長させます。終業式の日には、大掃除もあります。学校中をきれいにし、気持ち良く夏休みを迎えましょう。

中学校クラブ活動の所属状況

7・20現在

クラブ名	野球	サッカー	陸上競技	卓球	剣道	バレーボール
人数	10	11(2)	5(2)	5	6(1)	7(2)

※ () は高等部員数の内訳です。

<シリーズ クラブ活動は今! ?> 第1弾 バレーボール部

中学校のクラブを毎月、1つずつ紹介していきます。第1回はバレーボール部です。女子のクラブで7名の部員で活動しています。長らくバレーボールの1チーム、6名に満たない部員で活動してきましたが、念願の6名を超えました。

毎回の練習では、パス・サーブ・レシーブなどの基礎練習に加え、少しずつゲーム形式の練習を取り入れています。試合形式を経験してみて、改めて基本技術の大切さを痛感しています。バレーボールの魅力は、仲間と力を合わせてボールを大切につなぐところだそうです。顧問の先生は、「パスも、トスも、声出しも、チームメイトへの思いやりが大切になります。チームワークを磨き、試合での勝利を目指していきます。」と語っています。



<3年生 進路についての説明会>

6月24日(水) 3年生対象に、学園ホールで進路決定に向けての考え方や今後の予定について説明がありました。担当の江藤先生からは、進路は大きく分けると就職と進学に分かれるという基本から、進路決定までの大まかな流れについての話がありました。その中で、進路決定に向けて、大切にしてほしい3つのこととして、「生活を大切にする」「授業を大切にする」「大人と話をすること」があげられていました。最初から最後まで話に耳を傾ける3年生の姿は真剣そのもので、自分の進路開拓へ向けての決意の強さを感じました。日頃から授業を大切にできる3年生の更なる成長に期待しています。



生き生き「おしゃれ村」 今年も田植えをしました——小学生

おしゃれ村(=小学校の農園の呼び名)では、キュウリ・トマト・なす・枝豆など、子どもたちが育てた夏野菜の収穫が始まっています。子ども達は、暑さに負けず、雑草抜きなど農作業に頑張っており取り組んでいます。

さて、6月26日(金)には毎年恒例の田植えをしました。担当の深沢先生の指導のもと、3人一組になり一列ずつ苗を植えました。慣れない手つきで苗床から苗を取り、泥に足を取られ、時折、転びそうになりながらも終始、楽しそうに取り組んでいました。植えた苗は、「マンゲツモチ(もち米)」という品種で、青梅総合高校さんから頂いたものです。感謝の気持ちを込めて、秋の収穫を目指し、大事に育てましょう。そして、稲作の体験を通して、農家の方々のご苦勞を少しでも実感してもらいたいと思います。

裸足で泥の中に足を踏み入ると、ひんやりの中に何とも言えない心地よさがあり、その感触は忘れることができないものです。子ども達の活動を見ていて、私も遠い記憶がよみがえり、懐かしい気持ちになることができました。楽しい一時をありがとうございました。

